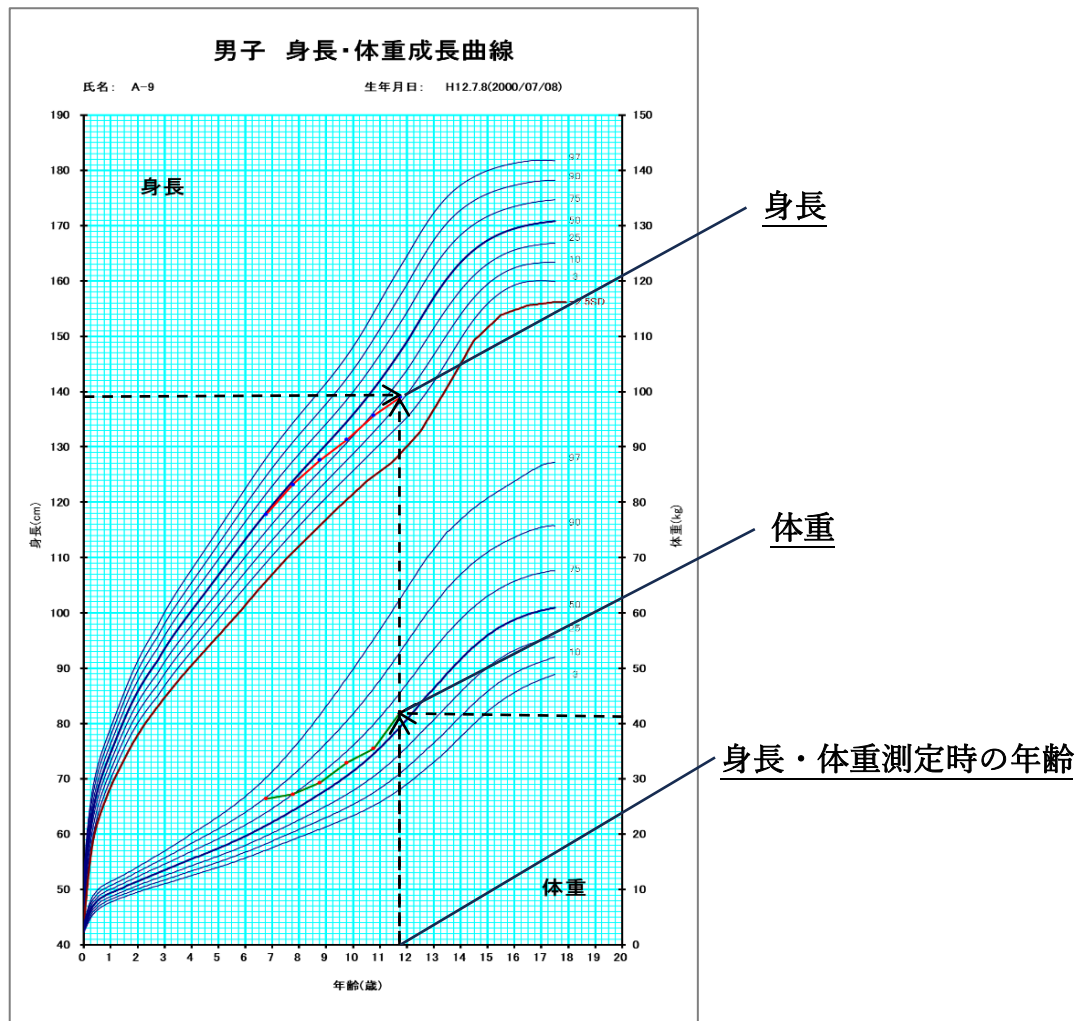


成長曲線について

成長曲線とは、身長や体重の測定値を使って、個人の発育の評価をする手段の一つです。成長曲線を描くことで、一人一人の成長の特性を確認し、「肥満」や「やせ」といった栄養状態の変化、低身長、高身長等を早期に見つけることができます。

- ・横軸に身長と体重を測定した時の年齢を取ります。
- ・縦軸に身長、あるいは体重の測定値を取ります。
- ・年齢の数値のところから縦軸方向に、身長、あるいは体重の数値のところから横軸方向に伸ばした線の交点に印を付けて、この印を結んだものが成長曲線です。

《成長曲線の見方》



子供の健康管理プログラム練習用データから

- ・身長や体重を記入する成長曲線作成図には、7本の基本曲線があります。7本のうち、まんなかの曲線（パーセンタイル値50）が標準の成長曲線になります。
- ・7本の基準線は上から97、90、75、50、25、10、3パーセンタイル曲線と言います。
- ・97パーセンタイルは同じ年齢の子ども100人を身長もしくは体重の低い方から高い方に並べた場合、低い方から高い方に数えて97番目、3パーセンタイルは低い方から高い方に数えて3番目にあたる身長または体重を意味しています。
- ・基準線と基準線の間はチャンネルと呼ばれています。正常であれば、身長、あるいは体重の成長曲線はこのチャンネルに沿っていますが、成長曲線がチャンネルを横切っていれば異常が考えられます。

(児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂より)